

令和 6年度 高松市施策評価表 (5年度分)

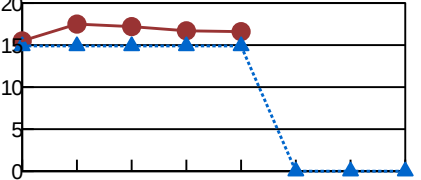
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価	評価担当	局名	都市整備局
	政 策	拠点性を発揮できる都市機能の充実			課・室名	住宅・まちづくり推進室
	施 策	中心市街地の活性化			電話番号	087-839-2136

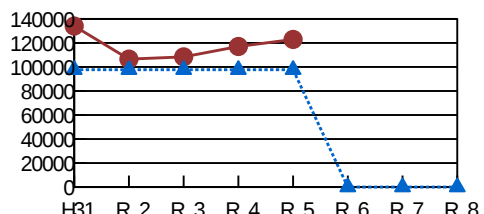
1 施策の目的

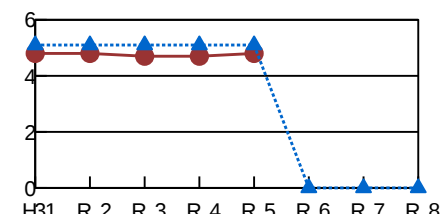
対象（誰、何を対象としているか）
中心市街地

意図（どのような状態にしたいのか）
中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき	
			3年度	4年度	5年度	5年度	5年度		
	中央商店街の空き店舗率	%		17.2	16.7	16.6	14.9	14.9	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移						
	近年の原材料の高騰や物価上昇の影響を受けたが、空き店舗数は前年から3店舗減少し、空き店舗率は改善傾向にあり、目標達成に近づいてきている。								
									目 標 達成度 (達成度) 88.6% 26点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			3年度	4年度	5年度	5年度	5年度	
	中央商店街の歩行者通行量	人	108,403	117,052	122,935	97,721	97,721	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					目 標 達成度
	令和5年度の歩行者通行量は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、イベントの再開などにぎわいが回復し、目標を達成することができた。							(達成度) 125.8% 30点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			3年度	4年度	5年度	5年度	5年度	
	中心市街地の居住人口の割合	%		4.7	4.7	4.8	5.1	5.1
成果状況 / 達成度評価			成果状況の推移					
前年度から248人増の20,216人と増加傾向であり、居住人口の割合としても前年度から微増の4.8%となり、目標をおおむね達成することができた。								
			H31 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8					目 標 達成度 (達成度) 94.1% 28点

3 市民満足度調査の状況

	3年度	4年度	5年度	
満足度	38位 (25.1%)	41位 (21.6%)	33位 (27.7%)	
不満度	8位 (24.0%)	5位 (27.9%)	4位 (25.6%)	
重要度	40位 (64.6%)	39位 (60.9%)	35位 (65.2%)	

4 施策に係るコスト

	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）
事業費	1,964,152	1,206,268	1,094,902	278,892
人件費	103,662	100,210	101,240	103,872
トータルコスト	2,067,814	1,306,478	1,196,142	382,764

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
民間主導により丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。また、現行の第3期計画の事業評価検証内容を踏まえ、令和7年4月から引き続き中心市街地の活性化を推進していくため、第4期計画を策定し、中心市街地のにぎわいが創出できるよう、官民が連携を図りながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

施策推進の方向性
中心市街地は、地域住民等の生活と交流の場であり、都市全体のまちづくりに関連するものであることから、その活性化は重要な継続課題である。 社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行い、効果的に事業に取り組むとともに、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松市立地適正化計画等を踏まえた中心市街地活性化基本計画に基づき、民間事業者等との情報共有や連携を図りながら施策・事業を展開する。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

[illegible]